

近畿圏広域地方計画 (関西広域地方計画)

中間とりまとめ(素案) 第2部参考資料
令和6年5月時点

■第2部 関西の将来像とその目標・戦略

・第1章 活力ある圏域づくり

第1節 日本中央回廊の西の拠点として我が国の成長を牽引する関西
～挑戦し、成長する関西～

第2節 豊に誇り高く暮らせる地域生活圏の形成を目指す関西
～どこでも豊に暮らせる関西～

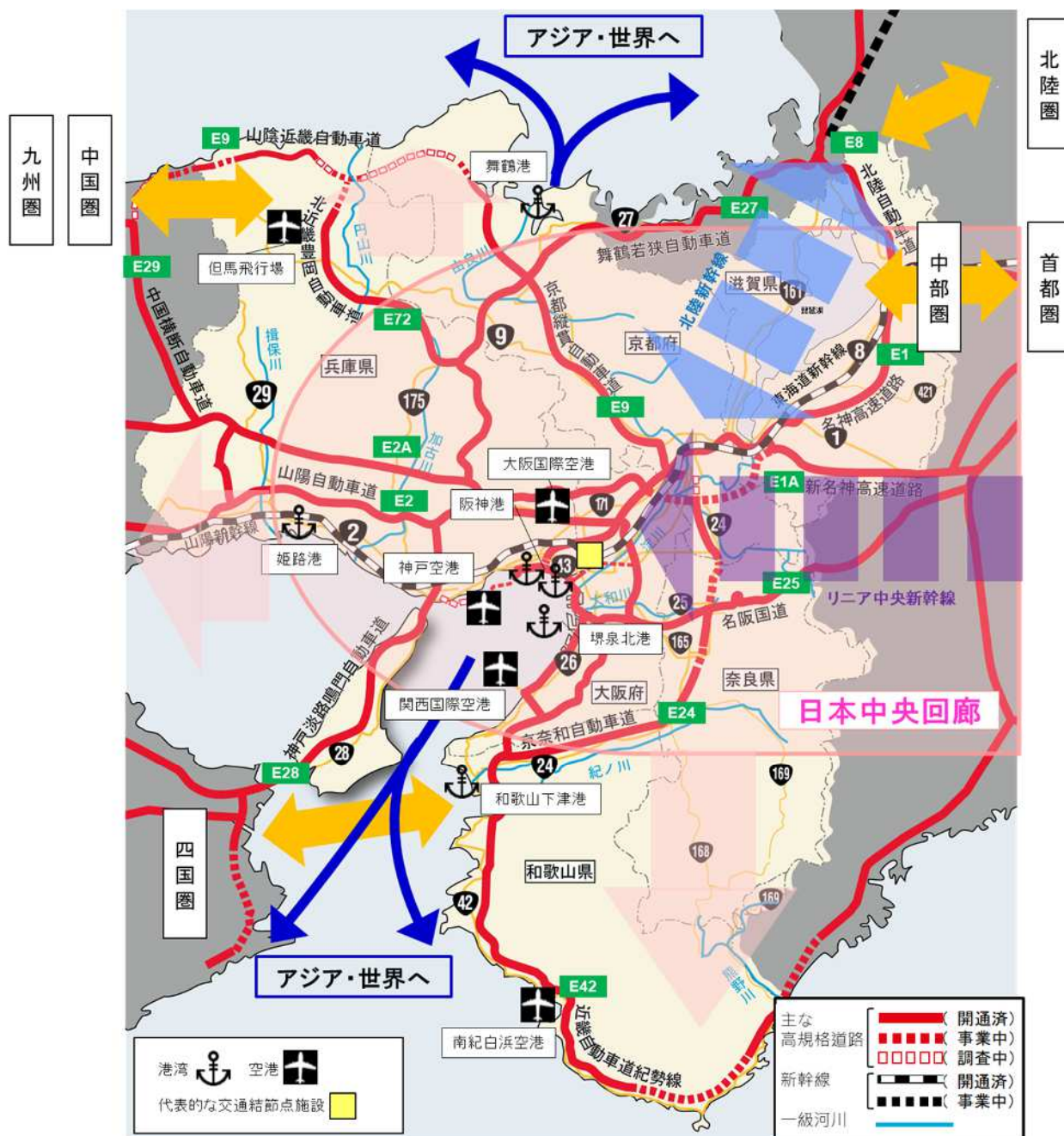
・第2章 安全・安心な圏域づくり

第1節 巨大災害リスクに対して強靱な国土・社会を目指す関西
～災害に屈しない強靱な関西～

第2節 人と事前が共生する持続可能な関西
～カーボンニュートラル・SDG s を実現する関西～

・第3章 個性豊かな圏域づくり

第1節 歴史・伝統・文化が集積し、世界を魅了し続ける関西
～多様な文化・自然の魅力がいっぱい関西～



関西の将来像(目指す姿)とその目標・戦略

1. 活力ある圏域づくり

- 日本中央回廊の西の拠点として我が国の成長を牽引する関西～挑戦し、成長する関西～
- 豊かに誇り高く暮らせる地域生活圏の形成を目指す関西～どこでも豊かに暮らせる関西～

2. 安全・安心な圏域づくり

- 巨大災害リスクに対して強靱な国土・社会を目指す関西～災害に屈しない強靱な関西～
- 人と自然が共生する持続可能な関西～カーボンニュートラル・SDGsを実現する関西～

3. 個性豊かな圏域づくり

- 歴史・伝統・文化が集積し、世界を魅了し続ける関西～多様な文化・自然の魅力がいっぱい関西～

1. 活力ある圏域づくり

- ① 日本中央回廊の西の拠点として我が国の成長を牽引する関西
～ 挑戦し、成長する関西 ～

- 高速鉄道網や高規格道路ネットワークの形成により三大都市圏を結び、1つの都市圏として世界に類を見ない魅力的な経済集積圏となる日本中央回廊の西の拠点
- 日本海・太平洋の2面活用及び瀬戸内海を介した西日本の圏域との連携



目指す
将来像

アジアを中心に世界からヒト・モノ・カネ・情報を呼び込むゲートウェイとなるシームレスで重層的な生活・経済圏域を形成し、国土の均衡ある発展や地域経済の活性化を実現する圏域

- 関西の強みである、医療・ライフサイエンス等の分野やグローバルニッチ企業等の特色あるものづくりの伝統
- 大学、研究機関、知的交流拠点等の集積・連携
- 大阪・関西万博のレガシーの承継・発展により我が国の成長エンジン



新たな産業の創出・強化、大学・企業と連携したスタートアップ支援、先端的な科学技術を支える基盤の強化、多様な人材を確保・育成

目指す
将来像

イノベーションを創出し続ける圏域

1. 活力ある圏域づくり

② 豊かに誇り高く暮らせる地域生活圏の形成を目指す関西

～ どこでも豊かに暮らせる関西 ～

- デジタルとリアルが融合した地域間の連携・補完
- 民の力を最大限に活用し、重層的でシームレスな地域生活圏を形成



里山・里海等の様々な地域が近接する多様性を活用。中山間地域と都市との共生・対流の促進。地域公共交通の再構築、官民連携によるデジタルを活用した生活サービスを構築。

目指す
将来像

関西のどこに住んでいても快適で豊かに暮らせる圏域

- 真の豊かさを実現する「ワークinライフ」を実現



地域コミュニティ活動の活性化、良質な住宅ストックの形成、既存ニュータウンなどの郊外部の再生、少子高齢化に対応した社会システムの構築などを推進。テレワークや二地域居住の活用。

目指す
将来像

ライフサイクルの様々なシーンにおける魅力があり心身ともに健康的に、充実した時間を過ごすことができる圏域

2. 安全・安心な圏域づくり

① 巨大災害リスクに対して強靱な国土・社会を目指す関西

～ 災害に屈しない強靱な関西 ～

- 南海トラフ地震・津波等の巨大災害リスク
- 気候変動に伴い頻発化・激甚化する風水害・高潮・雪害・土砂災害等のリスク
- 災害時の孤立リスクを低減
- インフラの老朽化の加速



流域治水、道路のミッシングリンク解消、インフラの老朽化対策、交通・通信・エネルギーなどライフラインの全体の強靱化。避難や救命救助・復旧活動等を支える取組や危機管理対策の強化を推進。地域防災力の強化。機動的な災害支援。

目指す
将来像

人々の生命・財産を守り、災害時にも社会経済活動を持続する圏域

- 日本中央回廊の西の拠点、かつ国内第二の経済圏として企業の集積
- 交通・物流インフラを含む都市機能の集積
- 豊富な人的リソースを備えている



官民による平時からの首都圏とのデュアルオペレーション体制を構築。災害時のサプライチェーンの確保。エネルギーの供給拠点の分散立地などを促進。

目指す
将来像

東京一極に集中する諸機能のバックアップを担い得る圏域

2. 安全・安心な圏域づくり

② 人と自然が共生する持続可能な関西

～ カーボンニュートラル・SDGsを実現する関西 ～

- 都市と豊かな自然や安らぎを提供する里山・里海が近接
- エネルギーの効率的かつ安定的な供給・利用を実現
- 2030年SDGsの実現・2050年カーボンニュートラルの実現に向けた都市・地域づくりを推進



自然や緑を活かした都市環境の改善・保全。健全な水循環の維持・回復、水文化の継承・再生・創出、地域特性等に応じた最適な規模の資源循環形成を推進。脱炭素の基盤となる新たな産業・技術(水素・蓄電池等)を強化。水素・燃料アンモニア等の供給体制の整備を推進。持続可能な産業への構造転換。インフラ等における再エネポテンシャルの有効活用など再エネの最大限の導入、農林水産業のグリーン化や地産地消などの食料システムの構築、市町村におけるゼロカーボンシティ表明、市民生活における温室効果ガス排出抑制

目指す
将来像

人と自然の共生、カーボンニュートラル・SDGsの実現するグリーン国土の創造に資する圏域

3. 個性豊かな圏域づくり

歴史・伝統・文化が集積し、世界を魅了し続ける関西

～ 多様な文化・自然の魅力がいっぱい関西 ～

- 関西特有の歴史・伝統・文化や豊富な地域資源を次世代に継承
- 外国人旅行者の多様な滞在ニーズや宿泊需要に応える
- 外国からの観光客を関西から拡大

目指す
将来像



関西の魅力に更に磨きをかける。人材の確保・育成、年間を通して宿泊施設の十分な供給。大型イベントを戦略的に活用。

世界の人々を魅了し続け地域経済の活性化を図る圏域

- 快適かつ便利に関西各地を移動・滞在
- 地域住民の生活や地域の文化、自然の保全と両立した持続可能な観光地域づくり

目指す
将来像



地域のコンテンツの充実や魅力の向上。「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくり。関西からの日本文化の創造・発信。デジタル技術等の活用による観光DXを推進。

地域の魅力を存分に味わうことができる圏域